

舞台芸術研究プロジェクトの軌跡・活動記録(含む北翔舞台芸術の活動記録)

著者	村松 幹男
雑誌名	Probe : 舞台芸術通信
号	5
ページ	40-44
発行年	2011-02
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001211/

舞台芸術研究プロジェクト

二〇一〇年四月より、舞台芸術研究プロジェクトは新たな二年間を迎えることになった。研究テーマは従来どおり「舞台芸術創造の方法論を活用した地域貢献に関する臨床研究」とした。

研究目的も「舞台芸術が北方圏の生活にもたらす役割を明らかにし、舞台芸術製作の方法論が、地域社会に貢献する人材育成や生涯学習に機能する可能性を、理論研究と臨床実践の両面から多角的に検討する」。

具体的には、舞台芸術の人的財産、技術力、舞台製作の方法論等を、コミュニティ形成・創造活動の促進に活かすコミュニティ・シアターの理論と実践に関する研究である。

基盤研究として、地域に関わる

①演劇教育や文化振興に関する基礎研究

②芸術活動に関する調査研究

③資料収集および臨床研究授業・ワークショップ（W

S）等の実施

④舞台芸術通信『PROBE』発行を通して、研究活動のアウトリーチを図り、舞台芸術に関わる組織や人材との提携、情報交換・提供の推進」と、従来をほぼ継承している。

二〇〇八年四月～二〇一〇年三月シーズンの成果はPROBE第三号、第四号を参考にしてほしい。簡単にまとめると、釧路地区・小樽地区において演劇人座談会を開催し、「臨床研究授業」の実施の成果をもとに高校生ワークショップのみならず、「演劇をこころざす人々のための劇づくり研修会」の開催などをおこない、アウトリーチ・プログラムの実施を広げた。論文は五本（うち一本は今後発表予定）。標準テキストも第一章から第三章まで執筆された。

今シーズンもそれらを発展させていきたい。

活動記録

二〇一〇年

一月

・高文連石狩支部演劇専門部冬期ワークショップ（舞台芸術研究プロジェクト共催）。昨年度と同様四班に分けての短い創作芝居を行った。十七日本番。

・短大人間総合学科服飾美術系 四大芸術メディア学科の服飾系ゼミ所属学生によるファッションショー「学外発表会」（二十八日、二十九日仕込み、三〇日本番。学生は舞台・照明・音響の手伝い）

二月

・北方圏学術情報センター共同研究シンポジウム。ポスターセッションでは二〇〇八年四月～二〇一〇年三月シーズンの研究成果を発表した（実際には二〇〇九年十二月までの研究成果）。

また、能楽師安田登氏の講演に加えて、研究員によるコラボレーションパフォーマンスを実施。安田氏の謡を中心に、鈴木しおり（ピアノ）、永留淳也（サクソ）、岡元眞理子（声楽）、村松幹男（朗読）、末次弘明（ペイントパフォーマンス）、森井綾（撮影）が関わったパフォーマンスを行った。学生は舞台、照明、音響も担当。二八日。

三月

・北翔大学短期大学部人間総合学科舞台芸術系第五期生卒業
・オープンキャンパス（二〇日。パル六階。学生・前

日設営、当日照明・音響オペレート）
四月

・北翔大学短期大学部人間総合学科舞台芸術系第七期生入学
・北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科舞台芸術コース第二期生入学

五月

・オープンキャンパス（十五日。パル六階。学生・前日設営、当日照明・音響オペレート）
・第十一回 定期公演 ジョン・ブリーストリー作、「夜の来訪者」（安藤貞雄訳 岩波文庫より）。演出は森一生。十七日から二二日。本番は二二日、二三日。今まで中間公演と呼んでいたが、生涯学習システム学部芸術メディア学科舞台芸術コースの学生が二年になっての公演なので定期公演と改称。

北翔大学 芸術系
北翔舞台芸術
第11回定期公演

夜の来訪者

作 ジョン・ブリーストリー
訳 安藤貞雄
演出 森一生

日時
5月21日(金)
開場 18:30
開演 19:00
5月22日(土)
開場 14:30
開演 15:00

入場料
一般 前席/1500 円
当日 1800 円
学生 前席/ 800 円
当日 1000 円

北方圏学術情報センター ポルトホール 問い合わせ
011-387-3969(村松)

「夜の来訪者」チラシ



夜の来訪者 (左) 舞台衣装 (右) 舞台写真

あさひサンライズホール
劇場研修旅行



六月

・第四回 さつばろ高校演劇合同ワークショップ(西さつばろ高校演劇合同ワークショップ改称)。今年は、四月から十八回にわたって行われた。六月二〇日(二一日)ポルトホールにて上演。作品は、「ユタと不思議な仲間たち」(中島憲脚色) 昨年同様舞台芸術研究プロジェクト共催。

・オープンキャンパス(二六日。パル六階。学生・前日設営、当日照明・音響オペレート)

七月

・土別市朝日町あさひサンライズホール研修旅行(四日・五日)。旭山動物園にも。

・東京研修(十六日・十九日)。歌舞伎の鑑賞「歌舞伎鑑賞教室」、劇団四季「アイダ」、新国立劇場小劇場「エネミイ」を鑑賞。国立能楽堂、国立劇場、新国立劇場、劇団四季劇場のバックステージツアーを行った。

・オープンキャンパス(二四日、二五日。パル六階。学生・前日設営、当日照明・音響オペレート)

八月

・学祭(二日) パル六階。学生・前日設営、当日照明・音響オペレート。

・一年目試演会(一日・二日)。野田秀樹作「パンドラの鐘」。パル六階にて。

今年は大学と短大を合わせて三十名近い学生が入学したので、大がかりになった。演出に関しては当初、



2年目試演会
「その時代を生きた人」



1年目試演会「パンドラの鐘」チラシ
(左) 舞台写真

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

九月

・二四日。藤原得代先生ご逝去。

・オープンキャンパス（十九日。パル六階。学生：前

日設営、当日照明・音響オペレーター）

・平岸高等学校30周年行事手伝い（二四日仕込み、

二五日本番）。

ホールで、軽音楽部、アンプラグドギター部及び

演劇部の公演発表が行われた。学生は、全体のステー

ジ、照明、音響設営などの手伝いを行った。

十月

・二年目試演会 西出萌美（学生）作「その時代に生

きた人」一日・二日。パル六階。

試演会としては、二度目の学生オリジナル作品。

いろいろ問題を自分たちで解決しつつ、端役を一

年生に頼むなど精力的に発表を行った。

・きものリメイクファッションショー（呼布（こぶ）

の会。プロジェクト共催）。七日、八日仕込み、九日

本番。

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

呼布の会は、美深町と名寄市の主婦たちの会で、

着物のリフォームの活動を行っている。毎年ファッ

シヨンシヨを行ってようだが、今年は、芸術

メディア学科と共催し、服飾美術を専攻する学生（人間総合学科の服飾美術系の学生も含む）を中心に、着物のリフオームの講習会等を経て、ポルトホールでファッションショーを開催した。このショーには、本プロジェクトも参加した。学生は、ステージ、照明、音響設営やオペレート等、いろいろと手伝った。

十一月

・えべつ風呂敷コンテスト（十三日仕込み、十四日本番。セラミックアートセンター）

短期大学部人間総合学科のビジネス系と服飾美術系を中心に行っているイベント。今年で四回目。

昨年と同じ場所、同じようなステージとはいえ、仕込みは実にスムーズであった。実践教育の効果といえよう。

・日本G・ブッチーニ協会北海道札幌支部設立記念レクチャーコンサート（未公開映像と歌で綴るブッチーニの生涯）。（十五日。プロジェクト共催。学生・照明・音響等のセッティング・オペレート）

日本を代表する指揮者の星出豊先生構成の「未公開映像と歌で綴るブッチーニの生涯」が行われた。「講演の照明と音響」を研究授業の一環として取り組んだ。

・座談会（二三日。詳細は本誌に掲載）。

十二月

・オーブンキャンパス（十一日。パル六階。学生・前日設営、当日照明・音響オペレート）

なお、今年度の卒業公演（第十二回定期公演に改称）は、諸般の事情で一月に行うことになった。今年度もイプセンの作品（毛利三彌訳）。「ヨーン・ガブリエル・ボルクマン」（二月二日、二三日。ポルトホール）

北翔大学 北翔大学短期大学部
北翔舞台芸術
第12回定期公演

ヨーン・ガブリエル
ボルクマン

作 ヘンリック・イプセン
訳 毛利三彌
演出 村松 幹男

日時 開場/開演
1月21日(金)
18:30/19:00
1月22日(土)
14:30/15:00

入場料

一般	前売り	1500円
	当日	1800円
学生	前売り	800円
	当日	1000円

問い合わせ(村松)
TEL:011-387-3969
E: muramatsu@hokusho-u.ac.jp